

あ と が き

前号にて予告しましたように、本号より誌名を「核データ・ニュース」と改めることになりました。「JND Cニュース」は1966年3月の発刊以来、この10年間に36回の発行に達しました。発刊当初に比べると扱う核データの範囲もかなり拡がり、核データの利用者も広い層にわたるようになってきました。このような状況から、誌名をより親しみ易いものにしたいと云うのが誌名変更の大きな理由でした。今後は内容においてもその点を考慮してゆきたいと考えています。

本号の巻頭言に、原研の山本理事から“「原子・分子データ」の登場について”と云う文を頂戴しましたが、核融合の開発に伴って「原子・分子データ」(しばしば「A & Mデータ」と呼ばれる)の必要性が国内外で最近強く叫ばれています。「原子・分子データ」はシグマ委員会および本誌で扱う「核データ」とは異質のもので、シグマ委員会としては現在直接の係りはありませんが、今後その動向については注目する必要があると思われます。また、「原子・分子データ」についての活動状況がシグマ委員会の初期の状況によく似ていることから、本誌も「原子・分子データ」に携わる人達から改めて注目を浴びているものようです。

本号の発行は予定から若干遅れる羽目になりましたが、発行予定時期に核データについて重要な国際会合や国際会議が開かれたため、ニュース誌の本誌としてはそれらに関する情報をできるだけ盛り込みたかったことがあります。速報性を重んずるがため発行が遅れると云う矛盾した結果になりましたが、遅れた分は多少なりと内容でカバーできたのではないかと考えています。お詫びするとともに言い訳を述べさせていたゞきました。(浅見)

編集者 更田豊治郎
浅見 哲夫